2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上場会社名　日本精蝋株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5010　URL https://www.seiro.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員　(氏名) 瀧本　丈平
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　常務執行役員　(氏名) 伊藤　宜広　TEL 03-3538-3061

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	15,345	6.3	2,889	209.9	2,549	358.0	2,301	295.3
2025年12月期第3四半期	14,430	△12.3	932	△46.6	556	△58.0	582	△55.3

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　2,315百万円　(350.4%)　2025年12月期第3四半期　514百万円　(△61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	116.55	81.56
2025年12月期第3四半期	29.48	22.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	30,634	8,693	28.4
2025年12月期	27,279	6,378	23.4

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期　8,693百万円　2025年12月期　6,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	10.7	3,600	206.9	2,800	311.3	2,400	244.0	121.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期3Q	22,400,000 株	2025年12月期	22,400,000 株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	2,650,747 株	2025年12月期	2,650,747 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期3Q	19,749,253 株	2025年12月期3Q	19,749,253 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①事業環境

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）における当社グループの事業環境を概観しますと、中東などでの紛争、円安傾向の継続により、原材料調達や製品需要が大きな影響を受けました。

こうした状況下、当社グループの第３四半期連結累計期間業績は売上高、利益とも前年同期実績を上回りました。増加要因は以下の通りです。

中東などでの紛争の影響により、原料価格が高騰したことを受け、その上昇幅に見合う販売価格の改定（サーチャージ制度）を４月より実施したことにより、製品市況価格が安定的であった北米・中国などへの輸出が減少しましたが、売上高は前年同期から増加しました。

また、原材料価格が高騰する前に購入した原材料を使用したことで、売上原価の上昇は原材料価格の上昇より遅れたため、売上原価の影響は一定程度に留まったこと、加えて在庫単価が上昇したことにより、利益は前年同期から大幅に増加しました。

来年度以降、原材料価格が下落し、それに対応して販売価格を改定する局面では、価格下落前に購入した原材料を使用することで、売上原価の減少は原材料の下落に対して遅行することに加えて、在庫単価が低下することにより、当期の収益増加分の反動減が生じる見込みです。

②事業の経過及び当期の経営方針等に基づく諸施策の実施状況

このような状況下、当社は前期に引き続き2026年を未来へ繋がる足場固め、「基盤強化期」と位置付け、以下の項目を実施しました。

Ⅰ新規高付加価値ワックスへの集中

・新製品化率を導入し、事業の進捗を定量的に把握することにより、新規の用途・顧客・市場の獲得を目指す

・ライスワックス及びその誘導体の本格的なワーク開始

・食品包装用ワックスエマルジョン及び産業用インクジェット向けワックスエマルジョンの開発案件が進捗

Ⅱ資本性劣後ローンの残高返済

・残額のうち元本５億円相当額の返済を７月31日付で実施

Ⅲ基幹工場のリニューアル

・徳山工場の競争力の抜本的な強化を目的に、製造設備をリニューアルすることとし、その用地の確保のため、既に運転を停止していた減圧蒸留装置の解体を６月にスタートし、12月に完了予定。

③当期事業概況と成果

当四半期連結累計期間の経営成績は、以下の通りです。

	前第３四半期 連結累計期間	当第３四半期 連結累計期間	対前年同期比
・国内ワックス販売			
売上高（百万円）	9,790	10,518	+728
数量（トン）	18,125	16,387	△1,737
・輸出ワックス販売			
売上高（百万円）	4,050	4,184	+134
数量（トン）	11,233	10,356	△876
・重油販売			
売上高（百万円）	500	594	+93
数量（キロリットル）	6,000	5,950	△49
・その他商品販売			
売上高（百万円）	89	47	△42
・総売上高（百万円）	14,430	15,345	+914
・営業利益（百万円）	932	2,889	+1,957
・経常利益（百万円）	556	2,549	+1,992
・親会社株主に帰属する四半期純利益（百万円）	582	2,301	+1,719

（販売）

ワックスについては、販売数量は前年同期比8.9%減、販売単価は４月よりサーチャージ制度を導入したことで前年同期比16.6%増となりました。また、重油の販売数量は前年同期比0.8%減、販売単価は19.7%増となりました。

（損益）

営業利益については、国内及び輸出ワックスの単価上昇によって、前年同期比1,957百万円増の2,889百万円、経常利益は前年同期比1,992百万円増の2,549百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,719百万円増の2,301百万円となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して3,355百万円増加の30,634百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少額515百万円、棚卸資産の増加額4,121百万円、流動資産その他の増加額271百万円、有形固定資産その他(純額)の減少額576百万円等によるものです。

これに対して負債合計は、前連結会計年度末に比較して1,039百万円増加の21,940百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の増加額1,090百万円、短期借入金の増加額473百万円、長期借入金の減少額627百万円、固定負債その他の増加額75百万円等によるものです。

また純資産合計は、前連結会計年度末に比較して2,315百万円増加の8,693百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加額2,301百万円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年８月14日公表の予想値を修正しています。詳細につきましては、本日公表の「2026年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828	2,312
受取手形及び売掛金	2,332	2,310
商品及び製品	4,932	7,434
原材料及び貯蔵品	2,296	3,916
その他	124	395
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,513	16,367
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,315	9,307
その他（純額）	4,550	3,974
有形固定資産合計	13,866	13,281
無形固定資産	79	106
投資その他の資産	820	878
固定資産合計	14,766	14,266
資産合計	27,279	30,634
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624	1,715
短期借入金	12,000	12,473
未払法人税等	2	7
賞与引当金	86	148
その他	1,146	1,076
流動負債合計	13,860	15,420
固定負債		
長期借入金	3,601	2,973
再評価に係る繰延税金負債	2,962	2,962
退職給付に係る負債	41	39
特別修繕引当金	35	68
その他	400	475
固定負債合計	7,040	6,520
負債合計	20,901	21,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	65	65
利益剰余金	1,201	3,503
自己株式	△674	△674
株主資本合計	693	2,995
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	5,477	5,477
為替換算調整勘定	207	221
その他の包括利益累計額合計	5,684	5,698
純資産合計	6,378	8,693
負債純資産合計	27,279	30,634

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	14,430	15,345
売上原価	11,736	10,597
売上総利益	2,693	4,747
販売費及び一般管理費	1,761	1,858
営業利益	932	2,889
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	5	7
受取保険金	7	2
受取賃貸料	17	17
為替差益	38	0
その他	18	18
営業外収益合計	96	53
営業外費用		
支払利息	439	367
その他	32	26
営業外費用合計	472	393
経常利益	556	2,549
特別利益		
固定資産売却益	－	0
補助金収入	5	2
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産除却損	20	54
減損損失	－	218
特別損失合計	20	272
税金等調整前四半期純利益	542	2,278
法人税等	△40	△22
四半期純利益	582	2,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	582	2,301

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	582	2,301
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2	13
土地再評価差額金	△70	―
その他の包括利益合計	△68	13
四半期包括利益	514	2,315
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	514	2,315
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	644百万円	549百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループの事業セグメントは、ワックス及び関連製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループの事業セグメントは、ワックス及び関連製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。